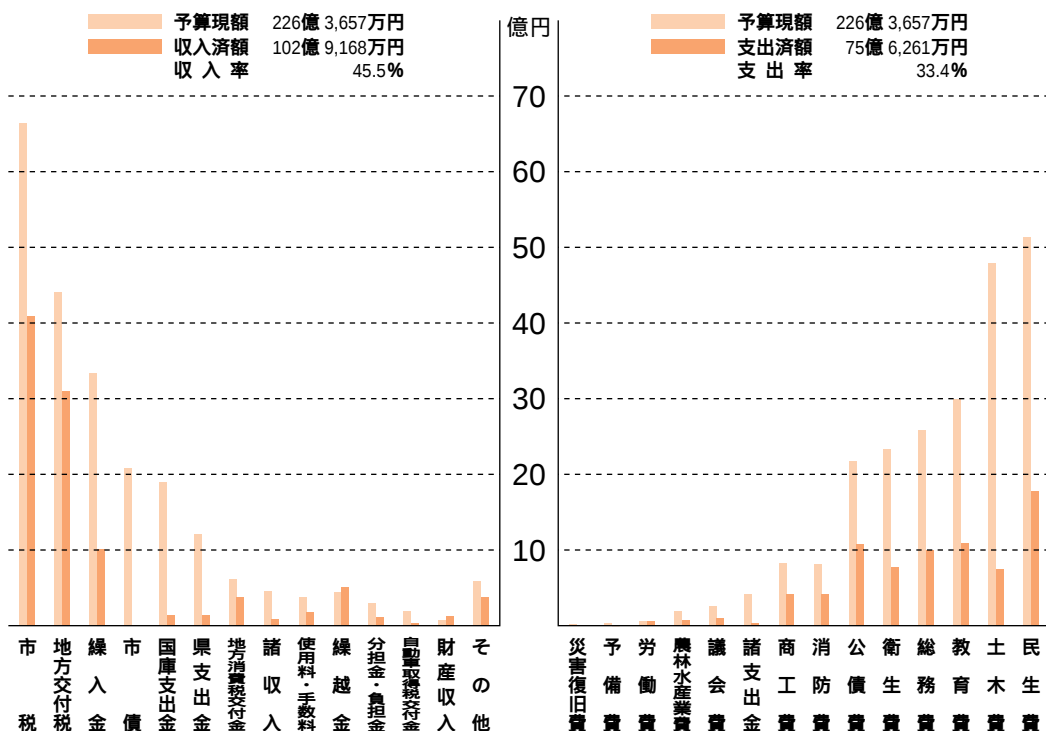




土岐市の “家計簿”を公表します

平成15年度上半期(4月～9月)の財政事情

【グラフ】一般会計の収入・支出の概要



この公表は、市の財政と市が経営する水道、病院事業の状況や、納めた税金がどう使われているのか...といった財政の状況を市民の皆さんにお知らせするため、毎年二回行っているものです。ここでは、一般会計、特別会計および企業会計の今年度上半期(四月～九月)の予算の執行状況などについてお伝えします。

一般会計の収入・支出

一般会計の九月末現在の予算は、二百二十六億三千六百五十七万円となっています。

【グラフ】

市が行うさまざまな事業の根幹である市税収入は、前年度と比べて減収となる見込みで、財政運営は厳しい状況にあります。

そのため、時代の変化と市民の皆さんの要望を的確に把握しながら、より一層経費の節減合理化を図り、最大の効果が得られるよう、財政の健全化に努めていきます。

市債(長期借入金)

市の収入には市税のほかに、地方交付税や国や県からの補助金などがありますが、一時的に多額の支出を伴う学校・道路・公園・病院・下水道などの建設事業の財源として、長期借入金(市債)を借り入れています。【グラフ】市債は、将来にわたって負担を残すこととなりますが、世代間の公平負担の原則を尊

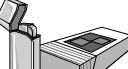
特別会計の収入・支出の概況

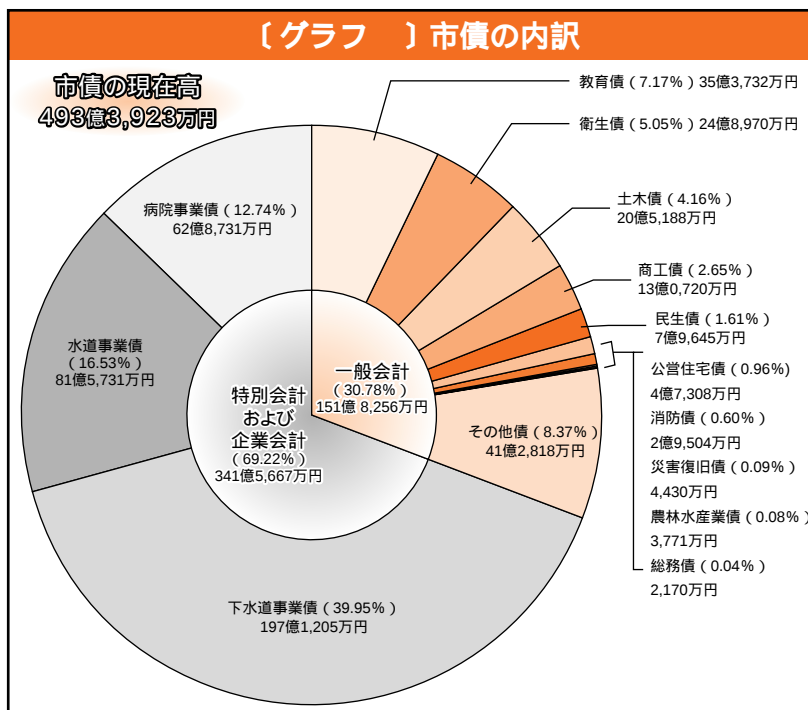
会計名	予算現額	収入済額	支出済額
曾木地区市有林管理	107万円	10万円	73万円
下水道事業	40億7,100万円	5億1,501万円	16億5,602万円
交通災害共済	2,192万円	1,445万円	740万円
国民健康保険	50億5,895万円	19億7,269万円	20億5,728万円
自動車駐車場事業	8,563万円	4,198万円	1,761万円
老人保健	58億0,770万円	23億9,724万円	24億5,581万円
介護保険	24億4,818万円	8億1,964万円	9億3,991万円
農業集落排水事業	6,686万円	0	585万円

重しつつ、返済能力の範囲内で運用されています。今年度は下水道整備事業、道路整備事業、公民館建設事業などに市債を借り入れる予定です。

特別会計の収入・支出

特定の事業を行ったり、特定の収入を特定の支出に充てたりする場合、一般会計と切り離して経理を行います。これを特別会計といい、本市の場合八種類あります。

市税の負担状況（平成15年度予算）		
市税収入見込み額 66億0,960万円（69億1,695万円） 市民一人当たり負担額 102,779円（107,501円） かっこ内は前年度決算額		
市民一人当たり負担額の内訳		
 固定資産税 50,541円	 市民税 37,571円	 都市計画税 8,276円
 たばこ税 4,893円	 軽自動車税 1,461円	 入湯税・その他 37円



**織部の里公園
整備事業**

市では今年度
こんな事業を進めています

**妻木公民館
建設事業**



移設する「暮雪庵」



完成予想図

企業会計の状況

■ 病院事業の業務状況

総合病院の平成15年度上半期の利用者数は、対前年度比で入院が1,976人（3.4%）減少し、外来（居宅介護サービス含む）においては7,655人（5.8%）減少しました。

駄知診療所の利用者数は、前年同期比で外来271人（4.3%）減少しました。

老人保健施設「やすらぎ」の利用者数は、対前年度比で入所が178人（1.1%）増加し、通所が66人（2.2%）減少しました。

< 施設整備 >

医療機器購入 5,351万円

病院名	区分	利用者数	1日平均利用者数
総合病院	入院	56,036人	306人
	外来	124,163人	985人
駄知診療所	外来	6,064人	48人
	入院	56,036人	306人
合計	入院	112,072人	612人
	外来	130,227人	1,033人

老人保健施設	入所	16,691人	91人
やすらぎ	通所	2,942人	20人

入所に居宅介護サービスの入所利用含む（前年度までは通所に含む）。

病院名	区分	金額
総合病院	収入	33億2,619万円
	支出	35億6,714万円
	差引	2億4,095万円
駄知診療所	収入	3,631万円
	支出	4,029万円
	差引	398万円
合計	収入	33億6,250万円
	支出	36億0,743万円
	差引	2億4,493万円

総合病院に老人保健施設を含む。

■ 水道事業の業務状況

本年度上半期の配水量は341万 t （対前年度比1.49%減）、これに対する有収水量は 313万 t （対前年度比1.33%減）となりました。

有収率は91.56%で、前年度に比べ0.14ポイント増となりました。引き続き漏水防止対策を講じ、高率確保に努めていきます。

< 施設整備 >

施設整備の現状は、第7次拡張計画に伴う配水管新設工事などを計画的に実施し、ライフライン確保の事業を進めています。

配水管新設工事	（6件）	1億0,056万円
公共下水道関連工事	（7件）	9,654万円
電気計装設備工事	（3件）	1,279万円

業務の状況

区分	業務量
配水量	3,414,375 m^3
有収水量	3,126,132 m^3
有収率	91.56%
給水件数	22,341件
給水人口	64,158人

経理の状況

区分	金額
収入	8億9,901万円
支出	8億2,952万円
差引	6,949万円

有収率 = 有収水量（料金となった水量）と配水量との割合